

前田のりよし 議会News Vol.27

活動報告



濱地雅一厚労副大臣(当時)に介護人材の支援について要望



火の国サラマンダーズのシーズン報告に同席、来季の活躍にエールを贈る



校区の皆さんへ県政と還暦のご報告、多くの皆様にご出席いただきました。感謝！



県内で唯一の水素ステーション(南区)で今後の水素展開を意見交換する



子ども達と描く、ウォールアート完成披露式で皆さんとお祝い



校区防災避難訓練で「自助・共助・公助」の役割を挨拶する



長寿祝賀会で健康社会の実現と安心安全を先輩方にエールを贈る



初開催の地元夏祭り地域コミュニティの重要性を挨拶、歌も披露する



文化祭・市民の集いで目標をもってチャレンジする事の重要性を挨拶

《前田のりよしプロフィール》

- 1964年8月16日生まれ 60歳
- 桜木小学校、東野中学校、県立第二高等学校、熊本商科大学(現熊本学園大学)卒業
- 学習塾、税理士法人勤務を経て、平成19年熊本市議会議員初当選
平成23年熊本県議会議員初当選 現在4期目
- 資格等：医業経営コンサルタント、CIPFA地方監査会計技術者、
NIE.E(新聞による経済教育)講師指導委員・熊本支部長
- 趣味：スポーツ観戦、旅行

その他、詳しくは【前田のりよし『誠心誠意』公式Webサイト【熊本県議会】ホームページをご覧ください。

前田のりよし『誠心誠意』公式Webサイト
<http://maeda-noriyoshi.net/>
前田のりよし公式Webサイト



熊本県議会ホームページ

Instagram



twitter



facebook



住所：熊本市南区南高江6丁目19-50
連絡先：県議会公明党
096-333-2645
携帯：090-1871-6631
Email：maeda@komei-kumamoto.jp

ごあいさつ

皆様方には、日頃より県政へのご指導・ご鞭撻を賜りまして誠に有難うございます。熊本県議会も木村知事体制になって3度の定例会が行われました。今回は私が9月の定例会で新知事への質問に立った内容を含め近況の報告をさせていただきます。引き続き、県民の皆様からの声を県政にしっかり届けて行く決意でございます。その他最近の活動も含めて報告いたします。どうぞご覧ください。



令和6年第三回定例県議会にて 18回目の質問に立つ

木村敬新知事就任後初めての質問を行いました。木村知事には、TSMC効果で県民全体が不安になっている水の安全確保対策、同じく県民の関心度が高い「アリーナ建設」について議論を致しました。

【質問内容】

- 水の安全確保に向けて
知事 答弁
- 渋滞対策について
亀崎副知事 答弁
- 今後無くなっていくものへの対応について
 1. 今後の公共交通とICカードの問題について
企画振興部長 答弁
 2. 水素ステーション撤去後の水素の利活用について
商工労働部長 答弁
 3. HPVワクチンのキャッチアップ接種への対応について
健康福祉部長 答弁
- アリーナ建設へ向けて
知事 答弁
- 介護人材(ケアマネ)の業務改善について
健康福祉部長 答弁
- 2040年問題を見据えた市町村支援について
総務部長 答弁



議会質問の様子は

主な質問・答弁内容

水の安全確保にむけて (知事答弁)

《質問》 TSMC進出と関連企業の集積に伴う大量の水使用により、熊本の水資源の枯渇や汚染といった状況が起きれば、取返しがつかないことになる。最近、有機フッ素化合物、PFOS・PFOAが国の目標値を超えて検出されたとの報道があった。水量に対する取組と同様、模範となるような水質の安全確保に向けた取組について知事の見解を尋ねる。

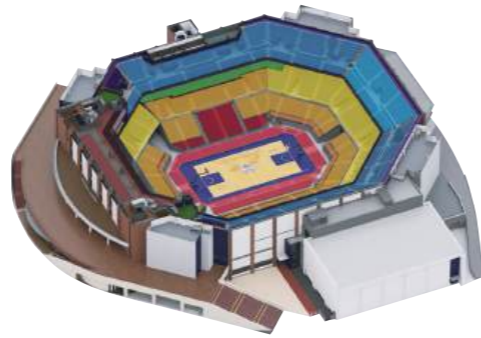
《答弁》 排水対策については、関係市町と連携して監視を徹底し、結果を公表する。また、法令等で規制されていない物質を対象に環境モニタリングを実施し、調査結果は環境モニタリング委員会の意見を添えて公表する。これらの取組は、パンフレットや動画により情報発信する。PFOS・PFOAについては、調査地点を昨年度の17地点から今年度73地点へと大幅に増やし、検査結果が判明次第、速やかに公表する。企業の地下水利用による県民生活への影響の最小化、地下水の水質保全を全力で図ってまいります。



アリーナ建設へ向けて (知事答弁)

《質問》 プロバスケットボールBリーグ改革が空前のアリーナ建設ラッシュの呼び水となり、地域活性化の核となるアリーナ建設の流れが全国に波及している。熊本ヴォルターズが県民に勇気と希望を与えている現状を見ても、この流れに遅れるわけにはいかない。地域活性化、地方創生、交流人口拡大へ向け、スポーツ施設の在り方検討から一歩進んだ考え方はできないか、知事に尋ねる。

《答弁》 県では、老朽化などの課題を抱える県営スポーツ施設について、経済界、スポーツ関係団体の代表者などで構成する検討会議を設け、民間活力の導入等も含めた整備の方向性について検討を進めている。アリーナを含めた各スポーツ施設について、スポーツをする側と見る側の視点に加え、地域のまちづくりや地方創生につながる観点も含めて議論を尽くしていく。



介護人材(ケアマネ)の業務改善 (健康福祉部長答弁)

《質問》 介護保険サービスの適切な利用を支援する介護支援専門員(ケアマネジャー)は、制度を支える要の存在であるが、日常業務や資格更新時の重い負担などを背景に、人手不足が深刻化している。今後、高齢化社会がますます進む中、ケアマネの業務環境改善に早急に取り組む必要があると思うが健康福祉部長に尋ねる。

《答弁》 多様化する介護ニーズに対応し質の高いサービスを提供していくためには、介護支援専門員の勤務環境改善と資質向上を図ることが重要な課題であると認識している。事務負担軽減のため、ケアプランを電子データでやり取りできるシステムを導入した。また、オンラインを活用して研修受講の負担軽減を図りながら、実践を重視した研修内容の提供にも取り組んでいる。このような取組を通して、介護支援専門員の勤務環境改善と資質向上を図り、さらに魅力を広く発信していく。



国への要望活動

木村知事、県議会議長と共に国の施策等に関する提案・要望活動を実施、経済安全保障の強化につながる半導体関連産業の集積促進に向けた道路整備推進、排水対策の推進、外国人材の受入環境整備、国土強靱化の推進等多岐にわたる要望に同行、与党公明党の斉藤代表へは県知事として第一号の要望となりました。



木村知事への緊急要望

県民生活を守るため、国の重点支援地方交付金の効果的な実施を求める政策要望を実施。
1.低所得者世帯への迅速な給付に全力をあげること 2.重点支援地方交付金における公平な支援の実現と特別なニーズへの対応 3.事業者へのエネルギー価格高騰等に対する支援策の充実等を緊急要望しました。



各地で県政報告会

衆院選を挟み、様々な県民の意見を聴取する目的で県政報告会を実施。SNSが台頭し真実を確認する手段等、皆さんと意見交換をし、県政の課題や今後の展望も報告させていただきました。

